

専門家と連携した防災出前授業

講師	大島商船高等専門学校 准教授 藤井 敬治 先生
実施校	柳井市立余田小学校 全学年（63人）
日時	平成22年7月12日（月）13時30分～14時45分

1. はじめに、災害に強くなるには

外国航路での経験を元に、実演を交えながら児童に語りかけていただきました。

海の上では、何かがあっても・・・

- ・パトカーも救急車も消防車も来ない
- ・お医者さんも看護師さんもない

- ※全部自分たちでやらなければいけない
- ※災害に強くならなくてはいけない

【ロープワークの紹介】

ロープの結び方、ほどこき方の基本、片手で輪をつくる方法などを教わりました。

たくさんのこぶを一瞬で作る技には児童から驚嘆の声が上がりました。



【防災グッズの紹介】

救急セットなどの防災グッズを紹介していただきました。中でもNASA開発の保温シートは大変薄く丈夫で、体験した児童はすごく温かいと吃驚していました。



災害に強くなるための3つの視点

- ①物を大切にする。
(ロープ一本も切らずに大切に使う)
- ②ちょっとした工夫、知恵が命を救う。
(結び方一つを知っているかどうか)
(何でもやってみる、何度も訓練する)
- ③1つの道具をさまざまな用途に使う。

3. サバイバルレッスン

もし災害に出会ったら？

KeyWordは「3」と「5」

【災害時3日間を自力で生き抜くには】

- 避難場所は3箇所は知っておこう
- 連絡方法は3つは準備しておこう
- 水は1人1日3リットルは必要
- 体温が3℃低下すると危険

○KY(危険予測)の基本は5感

- ・便利になりすぎて感覚が鈍っている。
- ・感覚を鍛えることが大切、得意な感覚を磨くと、他の感覚も高まっていく。

○もし、溺れている人を見かけたら・・・

- ・非常時は体重の5倍以上の力を出すので、一人では助けられない。
- ・浮かぶ物を投げ込んであげる。
- ・遊びに行く時は3人以上で、もしもの時は一人が通報、一人が見守る。

○非常時には、5W3Hで確実に報告

- 5W いつ・どこで・誰が・何を・どうした
- 3H どんな風に・何人が・怪我の程度は

4. その他

【非常食の紹介】

缶詰のパンや水で戻せる餅を見せてもらいました。

また、兵庫県南部沖地震の際、山口県から送られた救援物資のミカンが大変喜ばれたという話から、食のバランスの大切さについても教えていただきました。

